

中部 (7)山田中学校

適正化方策案の検証結果比較表

(○適合、△課題あり、×不適合)

検証項目、視点	検証内容	参考資料 10の項番	方策 中部 P (中宮中と統合)	方策 中部 Q (第一中と統合)	方策 中部 R (招提中と統合)
			ア(中宮中)	ア(第一中)	ア(招提中)
1. 学校規模 (1)適正な学校規模の確保	①統合校の学校規模	[1-(1)]			
	②適正規模を外れる場合、適正規模となる見込み及び時期(大規模校の常態化の有無)				
	③住宅開発等の動向	[1-(2)]			
2. 施設規模 (1)受入れ可能な教室の確保 (2)良好な学習環境の確保	①保有教室数	[2-(2)(4)]			
	②受入れ教室が不足する場合の増築等の可能性	[2-(4)]			
	③学校施設整備計画等との整合性	[2-(3)]			
	④小・中学校設置基準(H14文部科学省令)に定める校舎、運動場面積	[2-(1)(2)]			
	⑤学校敷地の形状・面積、校舎・体育館等の建築年数及び状態				
3. 通学区域 (1)適正な通学距離の確保 (2)通学路の安全性の確保 (3)子どもの生活圏の確保	①最長通学距離	[3-(1)]			
	②通学時の児童生徒の動線(不自然な通学様態)	[3-(2)]			
	③自転車通学、バス通学等の検討の必要性和実現可能性				
	④地形地物(鉄道・幹線道路・河川等)				
	⑤防災・防犯上の課題				
	⑥通学区域の広さ、形状				
⑦					
4. 小中連携 (1)小・中学校の接続関係の確保	①中学校区との関係(「一小一中」の接続関係)	[4]			
	②統合後の中学校の学校規模				
	③小中一貫教育への対応				
5. 地域連携 (1)学校と地域との連携の確保	①自治会等の区域	[5-(1)]			
	②学校の沿革、地域の歴史的な経緯	[5-(2)]			
			△		
			×		
			○		